

現計画の課題および今後の対応

最終評価

◆第1期計画で行った取り組みを国の指定様式により取りまとめ、課題を整理

・代表的な事業として、勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業及び山町筋道路整備事業を記載

第1期計画の課題

①歴史と伝統を反映した工芸技術及び祭礼行事・年中行事の継承と育成
・少子高齢化や世代交代により、伝統産業従事者については依然として減少傾向であり、後継者不足が課題である。また、地域固有の祭礼行事についても若者の地域離れなどにより、維持が困難になることが予想される。

②歴史的建造物の保存と活用
・国・県・市の指定文化財については一定程度保存が図られたものの、国の登録有形文化財については、所有者の高齢化などにより維持管理が困難となっているものもあり、今後もそれらの消失が懸念される。
・歴史的風致形成建造物については一定程度保全が図られ公開しているが、まだ保全が図られておらず公開されていないものが、約半数残っている。

③歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和
・道路修景整備や建物修景補助、屋外広告物の適正化における取組は、歴史的な町並みに調和した良好な景観形成が図られ、一定の効果が得られたため、引き続き取り組む必要がある。また、道路修景整備についてはまだ完了していないものがある。
・伝統的な建築形式をもつ町家については、民間が主体となり店舗等に活用した取組が一定の成果を得られているため、さらに活用が進むような取り組みが必要である。

④その他
・歴史的風致を構成する建造物や活動及びこれらと一体となって形成される良好な市街地を適切に維持向上していくためには行政のみの力では困難であることが大きな課題である。
・調査・研究については歴史、民俗、産業などの資料収集・保存や調査がまだ多く残されている。

第2期計画

◆今後の対応

・第1期計画の課題に引き続き取り組むため、第1期計画の方針を基本とする
・勝興寺の大改修完了や吉久地区の重伝建選定に向けた取り組み、新元号「令和」の出版となった万葉集やその時代の歴史的資産に関心が高まるなどの環境変化を踏まえて、北部地域の取り組みを強化

第2期計画での対応

①歴史と伝統を反映した工芸技術及び祭礼行事・年中行事の継承と育成
・祭礼行事や伝統工芸産業の後継者不足に対する支援を継続的に行うことで、それらの継承を図る。また、地域住民や学校などの取り組みも継続していくことで伝統工芸に触れ地域固有の歴史・文化であることを認識し、未来の伝承者や理解者へ育っていくような環境を醸成する。

②歴史的建造物の保存と活用
・国・県・市の指定文化財については、継続的に保存修理を実施していく。国の登録有形文化財については、所有者等と話し合いながら、必要に応じて歴史的風致形成建造物に指定し、保全を図っていく。
・歴史的風致形成建造物については、所有者等と話し合いながら、必要に応じて修理を行い、保全を図る。また、保全が図られたものについては、その価値を広く周知し、本市固有の歴史資産の魅力を知ってもらうため、公開に努める。

③歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和
・道路修景整備・建物修景補助や屋外広告物の適正化における取組は、引き続き取り組むことで歴史的な町並みの一層の保全に努める。また、道路修景整備については、未完了の2路線について引き続き取り組む。
・伝統的な建築形式をもつ町家等について、行政以外の活力を生かした活用を推進するような取組を進める。

④その他
・各種民間団体が実施するイベント活動を継続して支援していくことや市民参加型の取り組みを推進することで多方面から高岡の歴史や伝統を再認識を図る。
・調査・研究については、引き続き、歴史、民俗、産業などの資料収集・保存や調査を実施する。具体的には、高岡鋳物資料について、市の博物館及び美術館に所蔵されている鋳物資料について調査に取り組む。